

# 地域おこし協力隊便り



## 第20回 福原隆泰さん

地域おこし協力隊の福原隆泰です。皆さんお久しぶりです。今回は、宮古暮らしの感想とこれまでの活動を振り返りつつ、田代地域に対する今の想いをお伝えしたいと思います。

宮古市地域おこし協力隊  
フェイスブックページで  
情報発信中！  
https://www.facebook.com/miyako-chiikiokoshi/



早いもので、地域おこし協力隊に就任し、宮古に来て早一年を迎えました。振り返ってみると、新しい土地での生活は、初めて体験することが多く、良くも悪くもドキドキすることばかりでした。例えば、私が以前住んでいた兵庫県の東播磨では直面し得ない『冬の水道管の凍結』にも見舞われ、見事に東北の冬の洗礼を受けましたが、楽しい教訓となりました。

さて、私の使命である田代地区の振興と野外活動センターの利活用の推進の話に移ります。コロナ禍でなかなか思いっきり遊ぶことができない子どもたちには『あそびのひろば』などのイベントを実施したことで、大変



先日は地域の皆さんと亀岳小学校花壇の草取りに汗を流しました

喜んでもらえました。しかし、残念ながら、感染症対策のため、やむなく延期したイベントもありました。

私がイベントを企画する中で念頭に置いていることは、『地元の方の想いに寄り添うこと』です。私一人が盛り上がり企画し、運営したイベントでは地域に変革をもたらすことは絶対にできません。必ず地域の人の想いを知り、地域の人と共に作り上げるイベントでなければならぬ

と思っています。そのため、現在は地域の活動にも積極的に参加し、地域の特性やそこに住む人々たちを知ろうとしています。『田代に暮らし』数年後に気がついたら、田代地区に新しい魅力が加わり、田代のファンが増えれば、これほどうれしいことはありません。

## スタジオから

秋も本格的になりました。秋と言えば、読書の秋ですね。そこで、みやこハーバーラジオからは「ヨムヨムタイム」のコーナーをご紹介します。ヨムヨムタイムは、毎週火曜日の午後1時ごろからお送りしている、本を中心としたコーナーです。

市立図書館本館と田老・新里・川井の各分室が毎月決めているテーマに沿ったお薦めの1冊を紹介しています。毎週、本館からは一般向けと子ども向けの本をご紹介します。ちなみに、市立図書館本館の一般向けの先月のテーマは「〇〇の秋」。秋らしさを感じる本を紹介しました。また、毎月第4火曜日には、市内の本屋さんからお薦めの本についてご紹介いた

だいています。翌月の第2火曜日には、その再放送をしています。

書店員さんは流行りのコミックや小説、専門書、児童書などジャンルを問わずさまざまな本を詳しく分かりやすく解説してくれます。

あまり本を読まないという方でも思わず、本を読んでみたくなるのではないのでしょうか？

このコーナーが、皆さまにとって「素敵な一冊との出会い」につながると嬉しいです。秋の夜長、「ヨムヨムタイム」を聴いて、読書をお楽しみください。

- 「みやこハーバーラジオ」放送中！ FMラジオ【82.6MHz】
- インターネットの「リスラジ(ListenRadio)」やサイマルラジオでもお聴きいただけます。
- お便り・ファクス・メールお待ちしております  
〒027-0076 柴町3の35 キャトル4階  
みやこハーバーラジオ宛て  
FAX 77-3936 ☑826@miyakofm.com
- 問い合わせ 宮古エフエム放送 ☎77-3399

## 郷土が生んだ画家たち ～宮古市所蔵絵画の紹介～

市教育委員会文化課 編

宮古市は、森、川、海に囲まれ、それらの恩恵を受けて発展してきたまちです。みどり豊かな自然環境に培われたこの地域は、多くの優れた芸術家を輩出してきました。

なかでも、鉾ヶ崎出身の豊川和子画伯は、市内で小中学校の教員をしながら二紀会展に入選し、パリで22年間画家として活躍しました。パリを中心にペタンクの絵や街並みなどを描き、フランスでも高く評価されました。市民文化会館落成に際し寄贈された「ペタンク」は、現在もハワイエに展示されています。

また、重茂出身で彫刻家としても高名な吉川保正氏や、市議会議員も務め洋服デザイナーとしても活躍した関川喜佐雄氏などをはじめ、郷土出身の多くの画家たちが世界や日本の画壇で活躍し、優れた作品をのこしてきました。

さて、宮古市に寄贈された絵画は現在100点以上を数え、市内の公共施設などに展示、保管されています。崎山貝塚

縄文の森ミュージアムにはそのうち74点の絵画が収蔵されており、定期的に絵画展を開催するとともに、同館エントランスホールでの入れ替え展示も行っています。写真は今年度1回目の絵画展の様子です。

2回目の絵画展は11月3日(水)に開催を予定しています。前述の画家による作品をはじめ、宮古美術協会初代会長の増坂勲氏や現会長の成田玄治氏など、宮古出身の画家による作品を中心に25点を選定し展示します。

日頃、市民の皆さまが目にする機会のないこれらの優れた作品の数々をぜひご鑑賞ください。



## 市長のひとり言

7月から9月にかけて開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」は、連日、白熱した試合が繰り広げられました。

宮古市がホストタウンとなっている「ナミビア共和国」と「シンガポール共和国」でも、陸上や水泳などに多くの選手が出場し、見事メダルを獲得されました。新型コロナウイルスの心配がなければ会場に駆けつけて応援したいと考えていましたが、テレビの画面越しに一生懸命声援を送りました。

車いすテニスの男子シングルスで金メダルに輝いた国枝慎吾選手は、2013年3月に宮古市にお越しになり、東日本大震災で被災した私たちに激励していただきました。怪我の影響で悔しい思いをした2016年のリオパラリンピックから、不屈の精神で頂点に返り咲いた姿に涙しました。宮古市も、災害やコロナに屈せず、復興後のまちづくりを進めて行こう！と、強く思いました。

国や人種を超え、多様な個性を持った人たちが集い・競い・称え合う、スポーツの素晴らしさを改めて感じた夏でした。



2013年に宮古市を訪れた国枝選手との記念の一枚

※ホストタウン国の競技結果については、5ページに掲載

## 俳句に親しむ

季題「流れ星」「青蜜柑」

さいとう白沙 選

### 【特選】

青蜜柑まだ見ぬ夢の多くあり

内藤賢一

評||人生、まだこれからと謙遜。取り合わせの妙、奥行きのある句になりました。

まばたきも惜しくうっとり流星群

長澤智子

評||次つぎと流れる星に目をみはり、心を奪われます。様子を上手くまとめています。

### 【入選】

願いごとと言わぬ間に消え流れ星

大森和子

流れ星数えて孫と露天風呂

川崎みちえ

声変わりの子の挨拶や青蜜柑

佐藤栄子

見た目より勝りし甘さ青蜜柑

去石雄喜

弾みたる親子の会話流れ星

撰待初子

鉢植えの日に大きく青蜜柑

田代弘子

託したる願い何処へ流れ星

山崎榮治

顔中の皺を集めて青蜜柑

山崎榮治

◆次の季題「菊脛」「秋の海」※10月6日(水)必着

◆応募は一人3句までです。◆いただいた句を添削することがあります。◆はがきまたは封書で、句のほかに住所、氏名、ふりがな、電話番号を書いて、〒027-8501(住所不要)宮古市役所「広報みやこ」係へ応募してください。

◆今回の投稿者は31人でした。ありがとうございました。

【選者より】○歳時記を参考に傍題の活用もお勧めします。○小中高生の作品歓迎。学年のみ明記、他は一般に準じます。◇選者詠「煙吐くキツネノタバコ野路の秋 白沙」